

長崎県地域医療継続支援事業に関するアンケート調査

令和2年度 報告書

ながさき地域医療人材支援センター

目次

1. 調査概要	3
2. 調査結果	
Q1. 年代について	4
Q2. 会員・性別について	4
Q3. 主たる診療科について	5
Q4. 常勤医師数について	6
Q5. 事業の承継者について	6
Q6. 承継される医師等を対象とした支援の利用をしたいと思いますか	12
Q7. U・I・Jターンの可能性、意思確認について	13
Q8. どのような環境が整備されると長崎県で開業または勤務してもいいと思う 医師が増えると感じるか（自由記述）	14
3. 報告	18
4. アンケート用紙（参照）	19

1. 調査概要

U・I・Jターンを希望する医師に係る基礎調査のため、次の通りアンケートを実施した

目的：県外在住の医師に対してU・I・Jターンを呼びかけ、医師不足地域において診療所の開業・承継や診療所・病院に従事しようとする医師を地元市町とともに支援する長崎県の医療状況の継続的な収集による、地域医療における承継システム構築

調査日：令和2年（R01.3月～）

調査方法：長崎県医師会事務局より会員へ送付（会報に同封）会員は記入後、返信用封筒に入れ、県医師会へ送付

送付数：3,300件

回収数：189件（回収率6%）

質問項目：

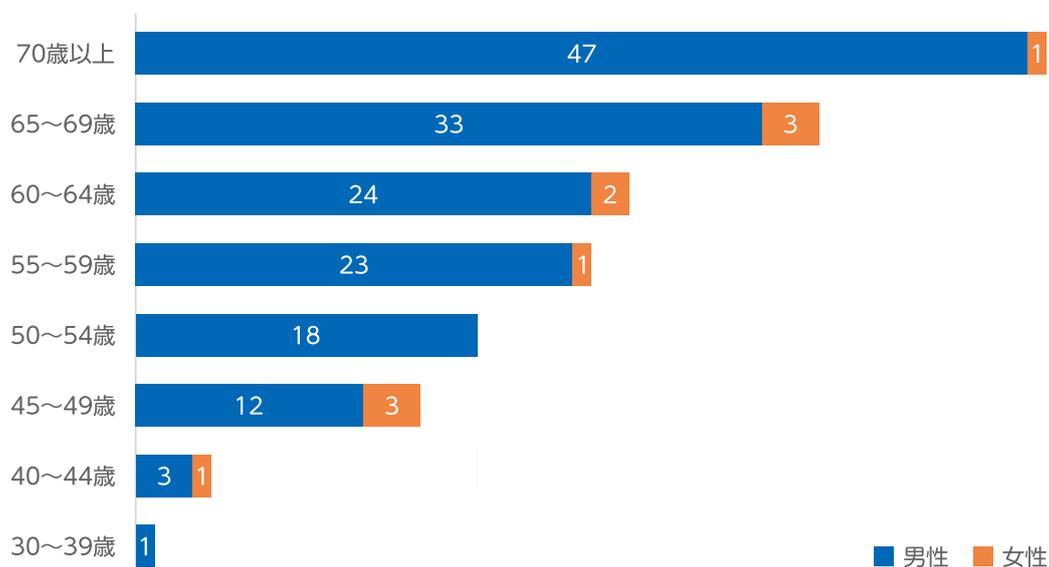
- Q1. 年代について
- Q2. 会員・性別について
- Q3. 主たる診療科について
- Q4. 常勤医師数について
- Q5. 事業の承継者について
- Q6. 承継される医師等を対象とした支援の利用をしたいと思うか
- Q7. U・I・Jターンの可能性、意思確認について
- Q8. どのような環境が整備されると長崎県で開業または勤務してもいいと思う医師が増えると感じるか（自由記述）

2. 調査結果

Q1. 年代について

	男性	女性	計
30～39歳	1	0	1
40～44歳	3	1	4
45～49歳	12	3	15
50～54歳	18	0	18
55～59歳	23	1	24
60～64歳	24	2	26
65～69歳	33	3	36
70歳以上	47	1	48
無回答			17

年代について



Q2. 会員・性別について

A会員：148名

B会員：24名

無回答：17名

注：A会員……医療施設の開設者・管理者、およびそれに準ずる会員

B会員……勤務医および大学（医育機関）医師

男性：161名

女性：11名

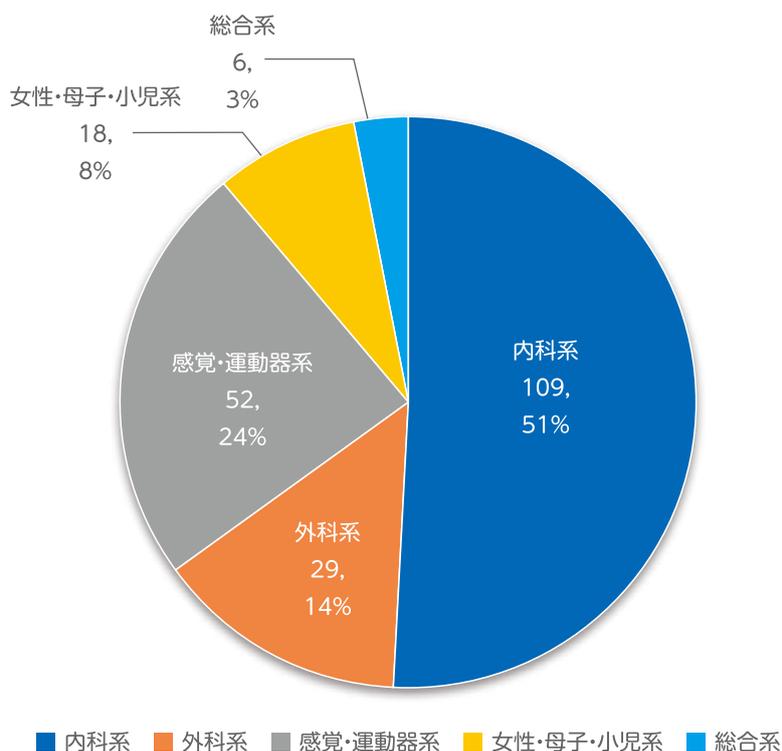
無回答：17名

会員	男性	女性	無回答	合計
A	138	10	0	148
B	11	0	13	24
無回答	12	1	4	17
合計	161	11	17	189

Q3. 主たる診療科について

【内科系】	109名 (51%)	【感覚・運動器系】	52名 (24%)
内科	76名	眼科	8名
消化器科	12名	耳鼻科	2名
循環器科	12名	耳鼻咽喉科	17名
呼吸器内科	4名	皮膚科	5名
腎臓内科	2名	形成外科	2名
神経内科	2名	整形外科	17名
糖尿病内科	1名	リハビリテーション科	1名
【外科系】	29名 (14%)	【女性・母子・小児系】	18名 (8%)
外科	23名	小児科	14名
泌尿器科	2名	産婦人科	4名
脳神経外科	2名		
小児外科	1名	【総合系】	6名 (3%)
消化器外科	1名	精神神経科	0名
		総合診療科	0名
		総合内科	1名
		健診科	1名
		緩和ケア	1名
		精神科	2名
		放射線科	1名

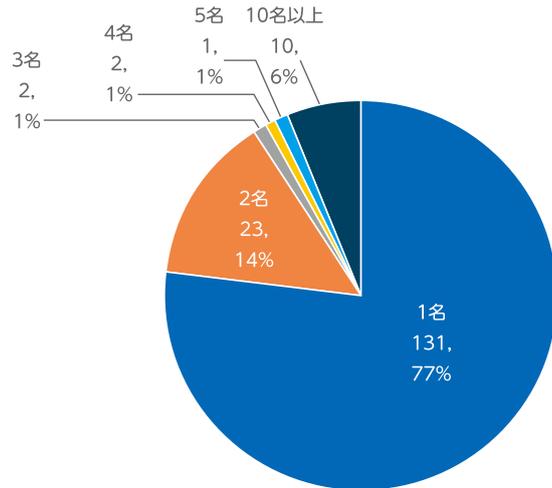
主たる診療科



常勤医師数

Q4. 常勤医師数について

	(件)	(割合)
1名	131	77%
2名	23	14%
3名	2	1%
4名	2	1%
5名	1	1%
6～9名	0	0%
10名以上	10	6%

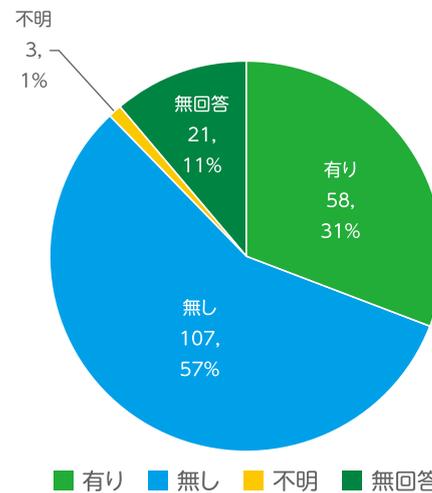


■ 1名 ■ 2名 ■ 3名 ■ 4名 ■ 5名 ■ 6～9名 ■ 10名以上

Q5. 事業の承継者について

	(名)	(割合)
有り	58	31%
無し	107	57%
不明	3	1%
無回答	21	11%

事業の承継者について

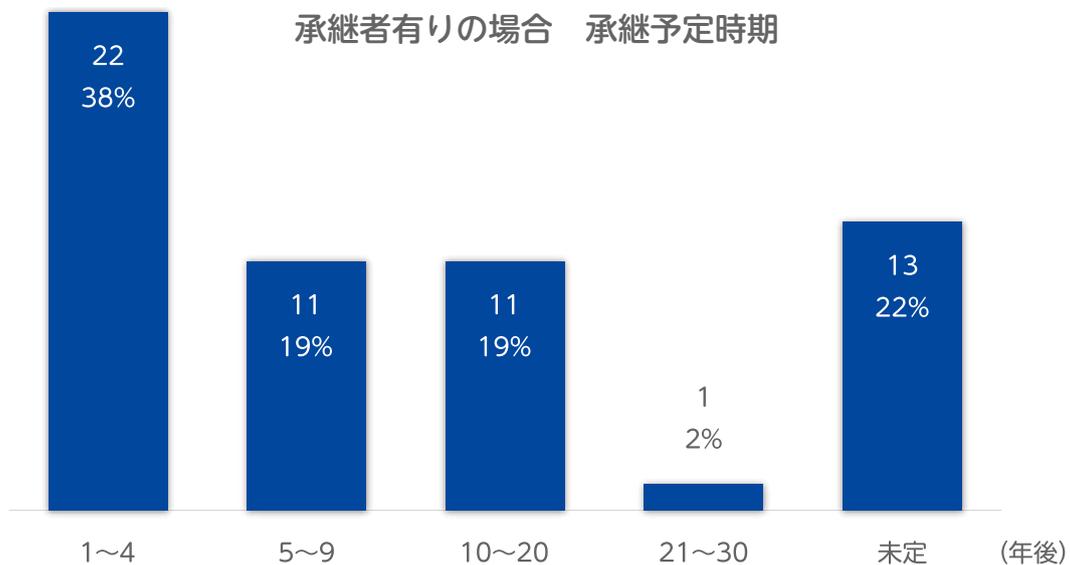


■ 有り ■ 無し ■ 不明 ■ 無回答

1. 有りと回答

承継予定時期 (概ねの年数)	(名)	(割合)
1～4年後	22	38%
5～9年後	11	19%
10～20年後	11	19%
21～30年後	1	2%
未定	13	22%

承継者有りの場合 承継予定時期

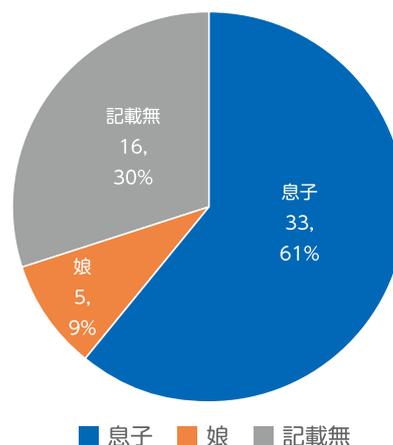


承継者の内訳

	(名)	(割合)
息子	33	61%
娘	5	9%
性別記載無	16	30%

子以外：4名の内訳
 理事長の長男、経営者、
 後輩、無回答

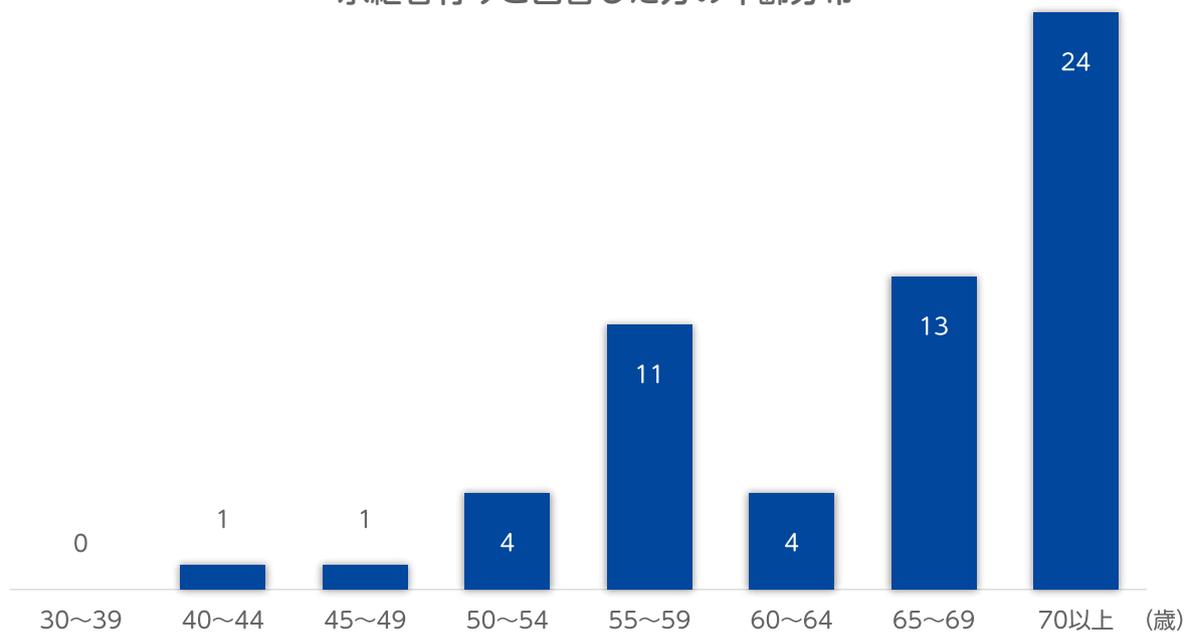
承継者（子）の内訳



承継者有りとの回答

	(件数)	割合 (%)
30～39歳	0	0%
40～44歳	1	2%
45～49歳	1	2%
50～54歳	4	7%
55～59歳	11	19%
60～64歳	4	7%
65～69歳	13	22%
70歳以上	24	41%
計	58	100%

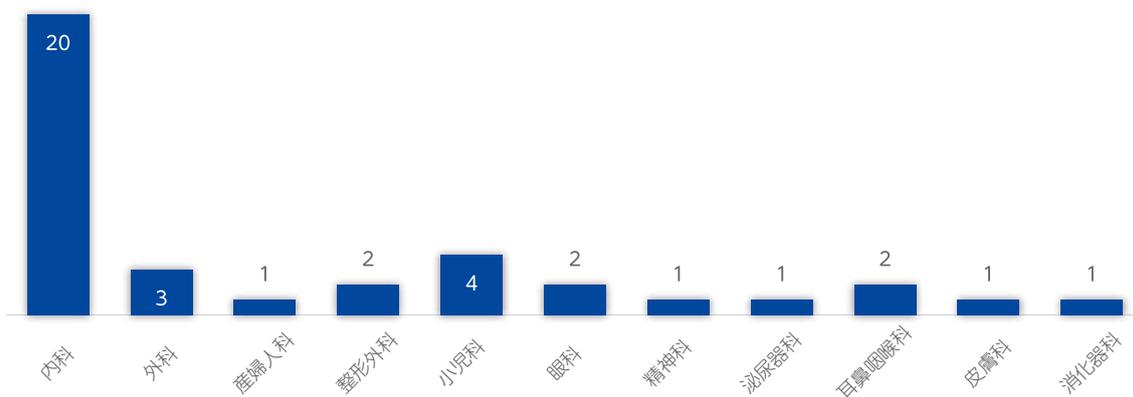
承継者有りとの回答した方の年齢分布



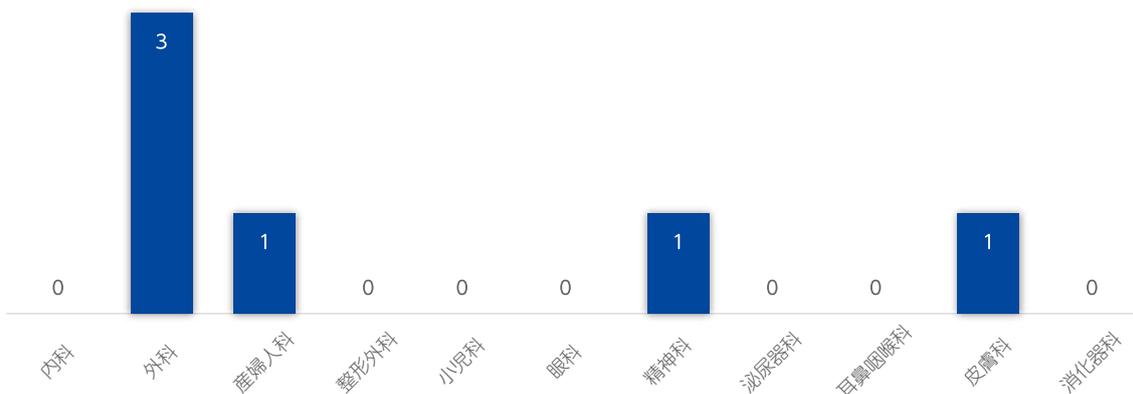
承継者有りと回答 58 名のうち、回答して頂いた 44 名

現在と同じ診療科	件数	現在と異なる診療科	件数
内科	20	内科	0
外科	3	外科	3
産婦人科	1	産婦人科	1
整形外科	2	整形外科	0
小児科	4	小児科	0
眼科	2	眼科	0
精神科	1	精神科	1
泌尿器科	1	泌尿器科	0
耳鼻咽喉科	2	耳鼻咽喉科	0
皮膚科	1	皮膚科	1
消化器科	1	消化器科	0
計	38	計	6

現在と同じ診療科へ承継

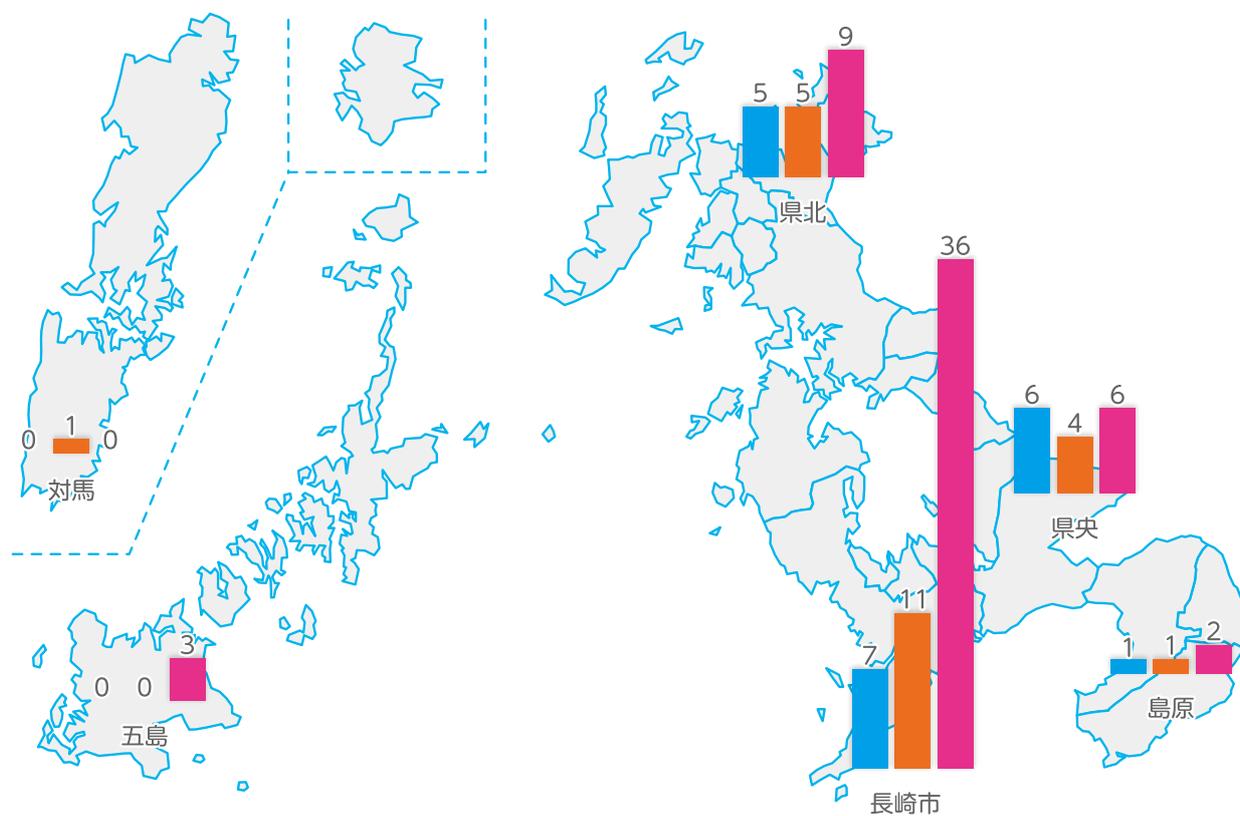


現在と異なる診療科へ承継



承継者無し地域追跡

地域(長崎県内)	廃止	第三者承継	未定	無回答	計
県北	5	5	9	1	20
長崎	7	11	36	1	55
五島	0	0	3	0	3
県央	6	4	6	1	17
島原	1	1	2	0	4
対馬	0	1	0	1	2
記載無	2	0	3	1	6
計(%)	21(20%)	22(20%)	59(55%)	5(5%)	107



■ 廃止 ■ 第三者承継 ■ 未定

2. 無しと回答

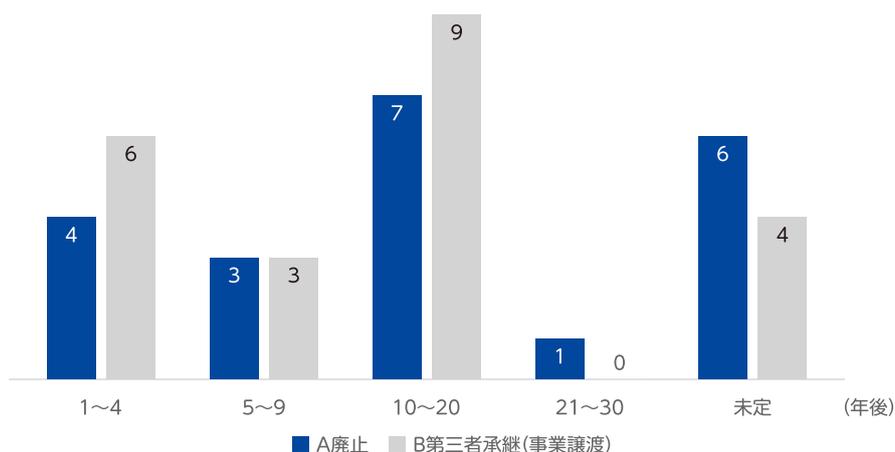
承継者無しによる廃止または承継時期

A廃止
(概ねの年数)

件数

1~4	4
5~9	3
10~20	7
21~30	1
未定	6

小計 21



B 第三者承継(事業譲渡)
(概ねの年数)

1~4	6
5~9	3
10~20	9
21~30	0
未定	4

小計 22

年齢	廃止	第三者承継	未定	未回答	計
30~39歳	0	0	1	0	1
40~44歳	0	0	3	0	3
45~49歳	3	0	9	2	14
50~54歳	2	2	10	0	14
55~59歳	2	4	4	0	10
60~64歳	5	4	12	0	21
65~69歳	3	7	10	1	21
70歳以上	6	5	10	2	23
計	21(20%)	22(20%)	59(55%)	5(5%)	107

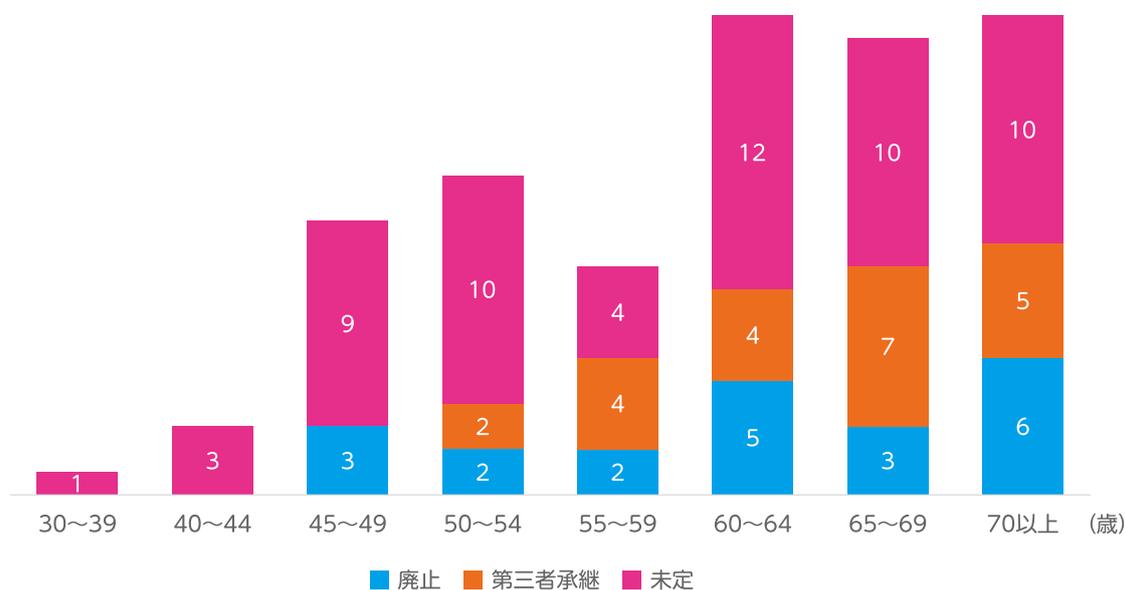
C未定

59

無回答 5

計 107

事業の承継者無しと回答した方の年齢分布

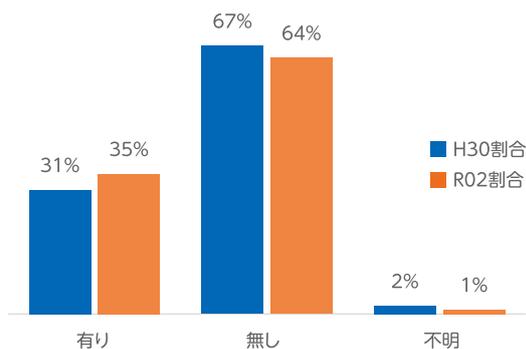


H30年とR2年比較

事業の承継者

	H30割合	R02割合
有り	31%	35%
無し	67%	64%
不明	2%	1%

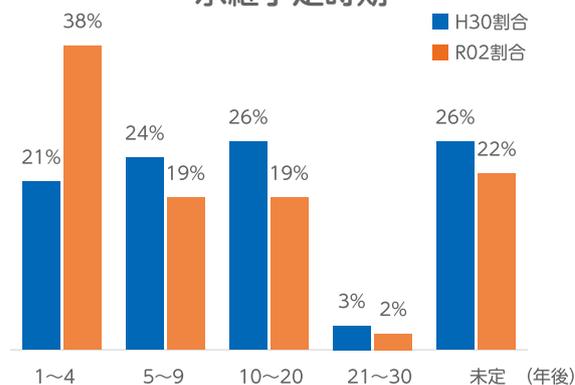
事業の承継者



承継予定時期

(年後)	H30割合	R02割合
1～4	21%	38%
5～9	24%	19%
10～20	26%	19%
21～30	3%	2%
未定	26%	22%

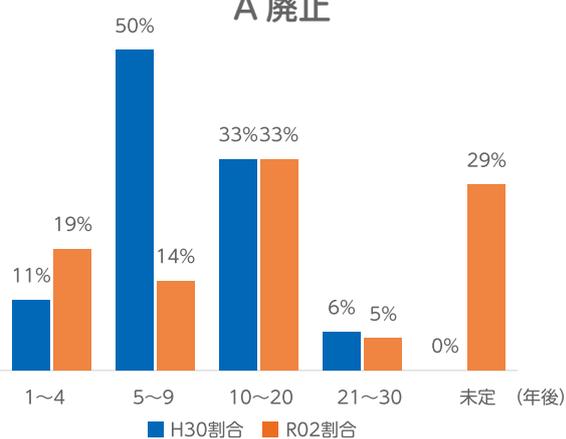
承継予定時期



A 廃止

(年後)	H30割合	R02割合
1～4	11%	19%
5～9	50%	14%
10～20	33%	33%
21～30	6%	5%
未定	0%	29%

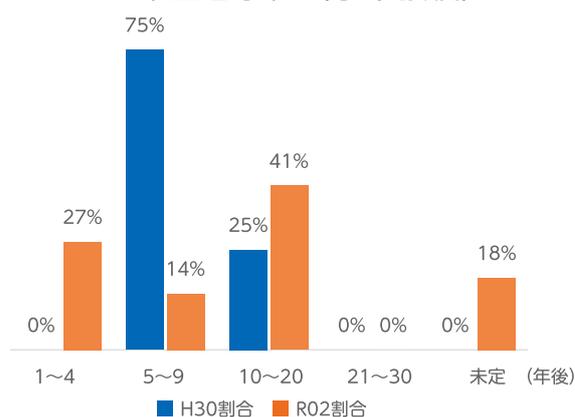
A 廃止



B 第三者承継 (事業譲渡)

(年後)	H30割合	R02割合
1～4	0%	27%
5～9	75%	14%
10～20	25%	41%
21～30	0%	0%
未定	0%	18%

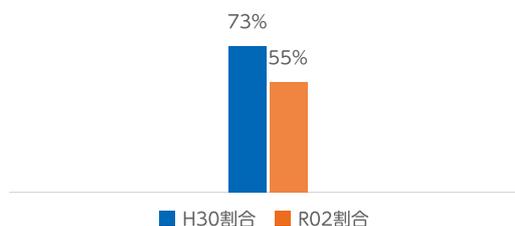
B 第三者承継 (事業譲渡)



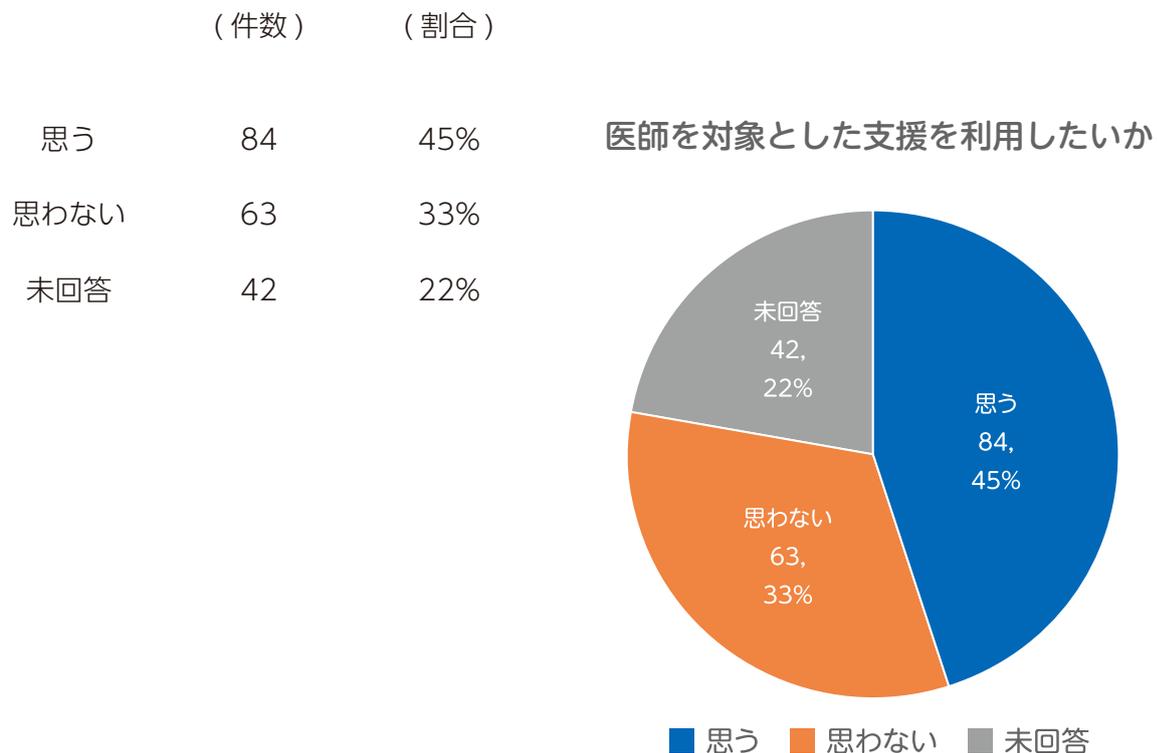
C 未定

	H30割合	R02割合
未定	73%	55%

C 未定



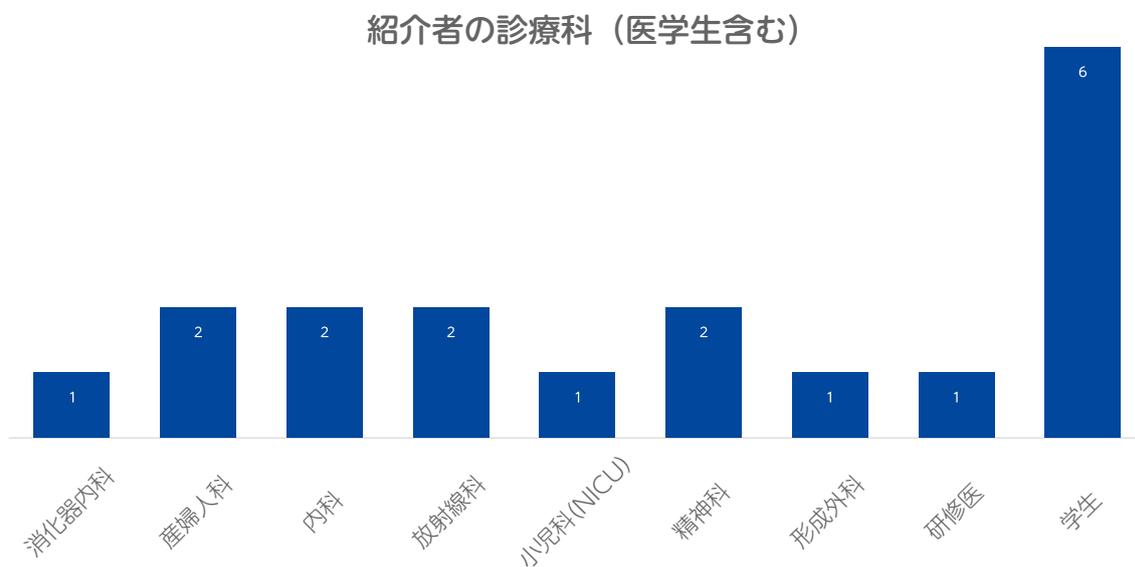
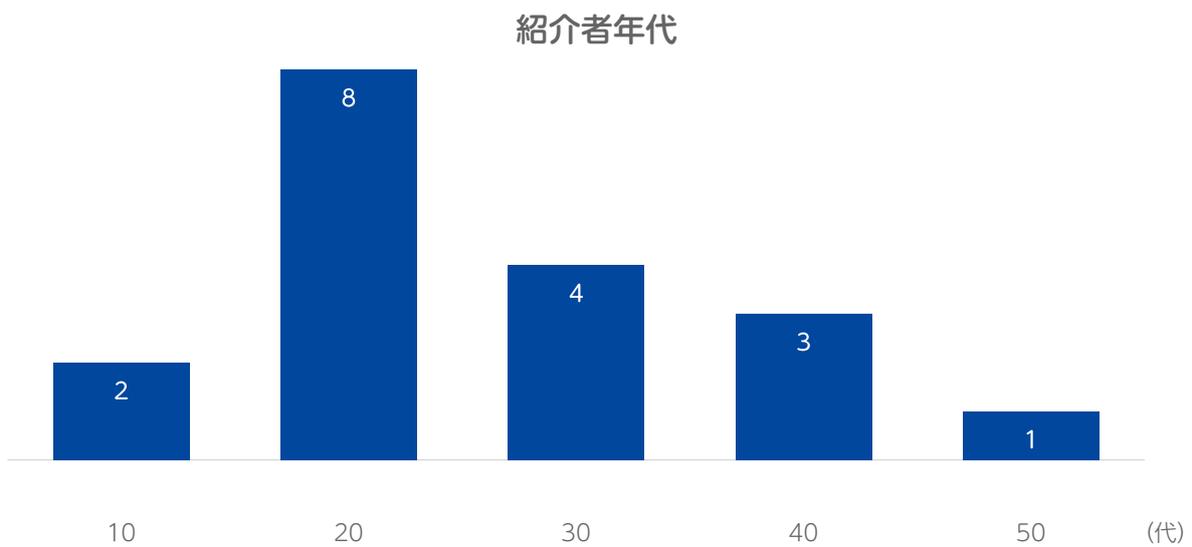
Q6. 承継される医師等を対象とした支援の利用をしたいと思いますか



承継される医師や第三者承継を考えている医師へどのような支援があると良いか		件数
1	医業承継のコンサルタント	13
2	紹介・承継医師バンク・斡旋・派遣	11
3	医師会などによる第三者のマッチング設定	9
4	専門分野、開業を考えているなど情報共有	7
5	勤務医の確保（人材確保）	3
6	経営戦略	3
7	補助金の支援・相談	3
8	税制による優遇・支援	2
9	病気、急用時、長期出張時の支援	2
10	生活習慣病の医療計画の外来機能評価の中には、外来の役目が評価されていない。今後承継した場合、その後の外来医療が成り立つのか心配	1
11	公的病院なので主に大学から支援を受けている	1
12	診療圏人口の減少が止まること	1

Q7. U・I・Jターンの可能性、意思確認について

紹介者年代	人数	紹介者の診療科	人数
10代	2	消化器内科	1
20代	8	産婦人科	2
30代	4	内科	2
40代	3	放射線科	2
50代	1	小児科 (NICU)	1
計	18	精神科	2
		形成外科	1
		研修医	1
		学生	6
		計	18



Q8. どのような環境が整備されると長崎県で開業または勤務してもいいと思う医師が増えと感じるか（自由記述）

※自由供述（個別記載）の為、掲載を控えております

3. 報告

報 告

本アンケート調査の概要・目的は長崎県医師会員を通じてU・I・Jターンを希望する医師を探索し自治体の支援事業に繋げることである。

送付数 3,300 件に対し 189 件の回収があり回収率は 6% であった。
アンケート調査には個人情報に関する内容が含まれている。

以下、アンケートの各項目について考察を含めて要点を報告する。

1. 年代：自施設の承継を検討する 55 歳以上の世代の会員からの回答が多かった。特に、70 歳以上からの回答が多かった。
2. 性別：回答 189 名中女性が 11 名 (6%) であり、前回同様、女性の割合が少なかった。
3. 主たる診療科：各診療科から意見が寄せられている。
4. 常勤医師数：常勤医師数 1-2 名の施設からの回答が 91% であり、診療所からの回収が主体であると考えられる。
5. 事業の承継者について：承継者有り 58 名 (30%)、無し 107 名 (57%)、無回答 21 名 (11%) であった。前回は回答者の約 3 割 (80 名) が無回答者であったが、今回は無回答者が少なく、より正確な情報を反映することができた。年代別には 60 代以上の会員からの回答が主体であったが、55 歳以上から承継者有りの割合が増えており、早期から承継者候補を検討していると推察された。承継者なしと回答した 107 名中 59 名 (54%) が自施設の廃止や承継について未定であったが、前回 (72%) と比べると減少傾向であった。地域別に見ると長崎、県北で今後未定である結果が多かったが、県全域に承継者がいない医療施設があることが分かった。
6. 支援の利用希望の有無：回収できた 189 件のうち 84 件で長崎県地域医療継続支援事業を利用したいという結果を得た。具体的な支援内容は多岐に渡り、今後も医師会と連携を取りながら充実した支援を構築する必要があると考えられた。
7. 医師の紹介：189 件中 13 件、計 18 名の紹介があった。この 18 名の医師に対しては紹介元の医師会員に直接電話連絡し具体的な連絡先の調査票を記入いただいている。今後紹介があった医師に対して事業の紹介をしていく方針である。
8. 自由記述：多様な意見を頂いており、今後の地域医療支援センター事業計画の参考とする。

4. アンケート用紙

【本アンケート調査の背景と目的】

近年、全国的に若手医師の都市部への偏在が指摘されております。本県においても、医師不足に加え、医師の高齢化も問題となっており、医師不足地域の医師確保は喫緊の課題と考えられます。

さらなる医師不足を防ぐために、本県にゆかりのある県外在住の医師にアプローチを行いU・I・Jターン就職の働きかけを行うとともに、地域医療を担う医師の確保に繋げていくことで、県民が安全かつ安心な生活を送ることができる医療体制を確保することが重要と考えられます。

また、平成29年に長崎県地域医療継続支援事業に関するアンケート調査を行いました。その中で地域医療における継承システムの構築を望む意見を多数頂きました。今後は当センターと医師会が協力し地域医療における継承システムの構築を模索していく予定であり、その点からもアンケートにより長崎県の医療状況を継続的に収集することは重要と考えています。

本アンケート調査は、県内における実態を把握し、5～10年先に医師が不足することが想定される地域・診療科については行政や大学等とも協議し、医師の確保・定着のための施策を検討することを目的に実施いたします。

長崎県医師会、当センターによる地域継続支援事業が必要と思いますか

1・思う　2・どちらとも言えない　3・思わない　（いずれかを○で囲んでください）

アンケート調査に協力いただける方は、2ページ以降の回答にご協力ください。

Q7～Q8 は、A 会員・B 会員共通

Q7 現在、県外在住の医師でU・I・Jターン就職の可能性がある、もしくはU・I・Jター
ン就職の意向確認を行ってもよい医師を紹介ください。

*医学部在学中の御子息、お知り合いでも構いませんので、よろしくお願いします。

1	氏名		年代	
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	
2	氏名		年代	
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	
3	氏名		年代	
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	

Q8 どのような環境が整備されると、長崎県で開業または勤務してもいいと思う医師
が増えるとお感じになっているかお聞かせください。



ながさき地域医療人材支援センター

長崎県地域医療継続支援事業に関するアンケート

令和2年度 報告書

発行 令和2年12月

代表者 高山 隼人

ながさき地域医療人材支援センター センター長

長崎大学病院地域医療支援センター 副センター長

〒852-8501 長崎市坂本町1丁目7番1号

TEL 095-819-7346

編集担当 高山 隼人

原口 雅史

小川 久美

片山 奈菜



ながさき地域医療人材支援センター